

**【法学研究科】ディプロマ・ポリシーに示された「力」と学位論文審査基準との対応**

研究科専攻	課程	DPに示された「力」	学位論文審査基準からみたDPに示された「力」との対応
法学研究科・法律学専攻	M	DP1：国際社会や国内外における法的価値について <b>客観的な判断</b> を行い、 <b>適切な選択</b> を行い、 <b>説明することができる能力</b>	<b>客観的な判断、適切な選択</b> 論文題目の設定・章構成の適切性、文章表現や引用等の適切性、研究テーマの関連性・学術性・実務性、理論的・実証的研究成果含有性、先行研究の参照性・研究の位置づけ、論文の体系性・専門性、研究倫理の適切性 <b>説明することができる能力</b> 研究倫理の適切性
		DP2：わが国の制定法や判例に関する <b>深い学識</b> を有し、それらの法的価値の分析を通して、 <b>法的問題の解決を行うことができる能力</b>	<b>深い学識</b> 研究テーマの関連性・学術性・実務性、先行研究の参照性・位置づけ <b>法的問題の解決を行うことができる能力</b> 論文題目の設定・章構成の適切性、文章表現や引用等の適切性、理論的・実証的研究成果含有性、論文の体系性・専門性、研究倫理の適切性
		DP3：専門とする法分野に関する不可欠な <b>資料を収集し、その資料を理解して、高度の法的専門性を有した法的問題の解決や研究成果を示すことができる能力</b>	<b>資料を収集しその資料を理解</b> 先行研究の参照性・位置づけ <b>法的問題の解決や研究成果を示すことができる能力</b> 論文題目の設定・章構成の適切性、文章表現や引用等の適切性、研究テーマの関連性・学術性・実務性、理論的・実証的研究成果含有性、論文の体系性・専門性、研究倫理の適切性
	D	DP1：国際社会や国内外における法的紛争について、その文化的・社会的背景を含めた法的価値に関する <b>豊かな学識</b> をもって、 <b>的確に把握し対処できる能力</b>	<b>豊かな学識</b> 研究テーマの関連性・学術性・実務性、先行研究の参照性・位置づけ <b>的確に把握し対処できる能力</b> 論文題目の設定・章構成の適切性、文章表現や引用等の適切性、理論的・実証的研究成果含有性、論文の体系性・専門性、研究倫理の適切性
		DP2：わが国の法制度や法の実態に対する広い視野を用いて、現在生じているまたは将来生じうる <b>法的紛争を解決することに応用できる能力</b>	<b>法廷紛争を解決することに応用できる能力</b> 論文題目の設定・章構成の適切性、文章表現や引用等の適切性、研究テーマの関連性・学術性・実務性、新規性・独創性、理論的・実証的研究成果含有性、先行研究の参照性・位置づけ、論文の体系性・専門性、研究倫理の適切性
		DP3：専門とする法分野に関する先行研究・資料の高度な分析を基に、専門分野における研究で独自の観点から <b>新たな知を創造することができる能力</b>	<b>新たな知を創造することができる能力</b> 論文題目の設定・章構成の適切性、文章表現や引用等の適切性、研究テーマの関連性・学術性・実務性、新規性・独創性、理論的・実証的研究成果含有性、先行研究の参照性・位置づけ、論文の体系性・専門性、研究倫理の適切性